

科目名	設計製図	科目コード	11310
-----	------	-------	-------

学科名・学年	機械工学科・3年
担当教員	小川 清之、本間 晃（機械工学科）
単位数・区分	3単位・必履修
開講時期・時間数	通年，90時間【内訳：講義18，演習72，実験0，その他0】
教科書	林 洋次，機械製図，実教出版
補助教材	プリント
参考書	

【A．科目の概要と関連性】

<前期> 卓上万力の製図

<後期> 次の課題から一つを選び、設計計算をしたのち、計画図を作成する。

部品図は時間の許す範囲にとどめる。

- 1．パンタグラフ形ねじ式ジャッキの設計製図
- 2．減速歯車装置の設計製図
- 3．手巻きウインチの設計製図

【B．到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目の到達目標を以下の表に示す。

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
設計強度計算の手法を身に付け、計画図を描く。	60%	
機械要素，鉄鋼のJIS規格を自分で調べ、一般的な機械材料選定が出来る。	20%	
加工方法の違いを図面に表現し、寸法公差の理解と適正な利用が出来る。	20%	

【C．履修上の注意】

物を見たり，設計計算を行いながら製図を行うので、機械の機構，加工，性能等を図面ではどう表現するのか理解・体験して頂きたい。また、常時教官が教室内を巡回し、気づいた点を指摘するので不明な点は遠慮なく質問していただきたい。

【D．評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。50点以上を合格とする。

定期試験（0%）【内訳：前期中間0，前期末0，後期中間0，後期末0】

その他の試験（0%）

レポート（0%）

製図課題（100%）

【E. 授業計画・内容】

前期

週	内容	備考
1	計画図調整	
2	同上作業を引き続き行う	
3	同上作業を引き続き行う	
4	部品図調整	
5	同上作業を引き続き行う	
6	同上作業を引き続き行う	
7	同上作業を引き続き行う	
8	同上作業を引き続き行う	
9	同上作業を引き続き行う	
10	同上作業を引き続き行う	
11	組立図調整	
12	同上作業を引き続き行う	
13	同上作業を引き続き行う	
14	同上作業を引き続き行う	
-		
15	図面の提出	

後期

週	内容	備考
1	ガイダンス、課題選択	
2	選択課題の計画図調整	
3	同上作業を引き続き行う	
4	同上作業を引き続き行う	
5	同上作業を引き続き行う	
6	同上作業を引き続き行う	
7	同上作業を引き続き行う	
8	同上作業を引き続き行う	
9	同上作業を引き続き行う	
10	同上作業を引き続き行う	
11	可能ならこの週より部品図調整	
12	同上作業を引き続き行う	
13	同上作業を引き続き行う	
14	同上作業を引き続き行う	
-		
15	図面の提出	